令和4年度
小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告

概要版-1

★市民参加で成り立つあすぴあ事業★

イベント部会	パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施
広　報　部　会	「あすぴあ通信」の取材・編集・発行
フェスタ部会	元気村まつりの企画・運営

あすぴあのキャッチコピー　知る 見る みん！やってみよう 活動

■2020年2月から始まったコロナ禍が丸3年となりました。感染状況も落ち着いたことで、基本的な感染対策は継続しつつ徐々に対面開催を取り入れて事業を行ってきました。とはいえ、諸事情により会場に来られない方への門戸を開くため、Zoomとのハイブリッドで開催することを意識しました。

■コロナ禍で2年間オンラインのみで実施してきた元気村まつりウィークを、今年度は「参加団体数を半分、飲食は無し」という制限を設けて会場開催を1日実施しました。久しぶりの対面開催で、団体メンバーや来場者の笑顔を見ることができました。世界情勢を反映し、ウクライナから避難来日している少女によるバンドューラ演奏会はたくさんの聴衆の心に響きました。舞台発表のオンライン配信や舞台装飾、駐車場誘導などに中高生の関わりを得られ、若者の力が好評価を得ました。

■こだいら人財の森事業では、昨年度に引き続き、事業説明会と講演会を兼ねた取り組みを年度末に行いました。今年度の講師に庄野真代さんを迎え、会場をルネこだいら中ホールと Zoom 両方にしたことで、興味を持ってくれる層を広げることができました。

■“つなぐ”があすぴあ事業のキーワードですが、市内外の様々な動きや情報を知るにつけ、まだまだ手の及んでいない部分があることを感じます。前例踏襲に留まらず、柔軟な発想で人と人とのつながりを作り続けていかねばならないと思います。

登録団体数 127

4月

5月

6月

第1回パワーアップ講座（2回連続）
「市民活動のためのSNS活用講座 ～伝える、その前に！「伝わる」情報発信って何？～」

7月

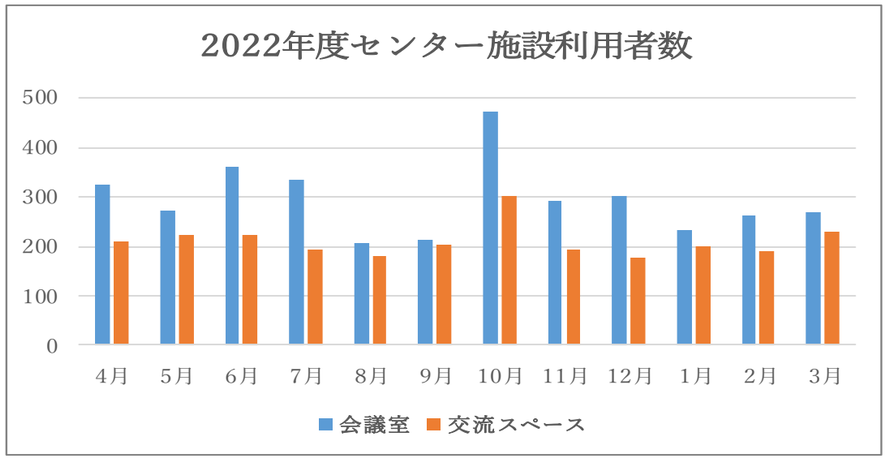
●情報の収集および提供
・チラシやポスター等最新情報の配架・掲示
・補助金・助成金等の情報収集および提供
・閲覧用図書・資料の整備

第1回交流サロン
「学生が参加する社会活動 in 小平」

8月

第2回パワーアップ講座（3回連続）
「Wordを使って 思い通りのチラシづくり」

9月



●オンラインの定期的な支援

（協力：指定管理者内のグループ「オンラインサポート研究会」）

◎Zoom利用支援会
・対象：小平在住・在勤・在学の方
・内容：A.アプリインストール＆参加の仕方、　B.主催の仕方、
　　C.スマホで参加の仕方　　D.iPadで参加の仕方
・今年度の参加者合計：19名
・定期的開催は今年度で終え、来年度以降は要望があった場合に対応。

◎オンライン機器の使い方講習会「ハイブリッド会議をやってみよう」を実施

●あすぴあ通信
毎号4,000部、年5回発行、市内公共施設等に配架。

●広報活動
・**市報へのタイムリーな掲載および1面特集の掲載**
・イベントと連動したホームページおよびFacebookのタイムリーな更新
・月1回のメールマガジンの発行と送付先の拡大
・地域メディアへの継続的なプレスリリース
・自治会・町会の一部区域に「あすぴあ通信」を配布、また市内全自治会にチラシを班回覧依頼（随時）
・元気村まつり特設サイトを開設
・元気村まつりウィークや人財の森事業をTOKYO854くるめラでPR
・市役所ロビーや中央公民館で開催するイベントで出張広報アクションを実施
・あすぴあ交流スペースに「こだいらニュースピックアップコーナー」を設け、メディアで取り上げられた記事を掲示

●地域連携活動等
・運営サポート会議委員に地域の企業や施設の方々を加えた
・交流サロンのゲストスピーカーに地域包括支援センター職員を依頼
・中央公民館事業企画委員会に参加
・「忘れない3.11展」実行委員会に参加
・AKVS(あすぴあ、公民館、社協ボランティアセンター、市民協働の情報連絡会）に参加および職員研修交流会を実施
・市民協働主催事業に協力および参加
・自治会地域懇談会および地域連絡会に参加
・都内の市民活動支援センターとの情報交換・交流の実施（東京ボランティア・市民活動センター、8市市民活動情報連絡会）
・見学受け入れおよび各種協力

●問合せ・相談等
・コロナ禍で多かったオンラインやパソコン関係は減少。
・団体立ち上げや助成金に関する相談などは「なんでも相談室」で対応。
・市の様々な部署からの紹介や、講座や講師に関する他市からの問合せもあり。

市民活動 なんでも相談

●職員研修
◎内部研修
・市民活動の引き継ぎ方を考える勉強会
・年度初めの業務研修＆自衛消防訓練、リソグラフ印刷機講習
◎外部研修
・AKVS職員研修交流会（2回）